

沖縄県立芸術大学附属研究所彙報

I 平成15年度研究業務状況

(1) 二部門以上共通

1. タイ・ラオスの伝統文化研究 [担当：伝統芸能部門、伝統工芸部門]
2. 沖縄伝統文化資料の収集・データベース作成 [担当：芸術・文化学部門、伝統工芸部門]

(2) 芸術・文化学部門

1. 地域文化の調査研究
 - A. 『琉球国由来記』の研究 [担当：波照間永吉教授]
 - B. 沖縄の神歌の調査研究
 - C. 与那国島の伝統文化の調査研究 [担当：加治工真市教授・波照間永吉教授・川平成雄調査員・平良勝保調査員・飯田泰彦調査員・与那覇仁一調査員]
2. 『鎌倉芳太郎資料集 ノート篇(1)』の編集・刊行 [担当：波照間永吉教授]
3. 八重山方言辞典作成のための調査研究 [加治工真市教授]
4. おもろ研究会（平山良明代表）開催 [担当：波照間永吉]
5. 沖縄文化と日本文化の比較文化学的研究 [担当：ホルスト・S・ヘンネマン教授]
6. 平成15年度沖縄県広域学習サービス事業リカレントコース講座 「『おもろさうし』を読む」
[担当：波照間永吉] 平成15年10月2日～12月4日（午後7時～9時）
第1回 10月2日 波照間永吉（附属研究所教授）
「『おもろさうし』の概要」
第2回 10月9日 高橋俊三（沖縄国際大学教授）

- 「オモロのことば」
- 第3回 10月16日 赤嶺政信（琉球大学教授）
「オモロと古琉球の民俗」
- 第4回 10月23日 安里 進（浦添市文化部部長）
「考古学の伝えるオモロ時代」
- 第5回 10月30日 高良倉吉（琉球大学教授）
「大交易時代とオモロ」
- 第6回 11月6日 豊見山和行（琉球大学教授）
「王府組織とオモロ」
- 第7回 11月13日 波照間永吉（附属研究所教授）
「『おもろさうし』にみる古琉球の宗教」
- 第8回 11月20日 波照間永吉（附属研究所教授）
「『おもろさうし』の中の王権」
- 第9回 11月27日 波照間永吉（附属研究所教授）
「『おもろさうし』に謡われる生産」
- 第10回 12月4日 波照間永吉（附属研究所教授）
「オモロ鑑賞」
6. 加治工真市教授退官記念事業（『沖縄芸術の科学』加治工真市教授退官記念号の編集・刊行）

(3) 伝統工芸部門

1. 沖縄染織の研究 [担当：柳 悦州教授]
2. 鎌倉芳太郎紅型型紙の画像データベース作成と研究
3. 織物技法研究
4. タイ・ラオス織物文化研究 [担当：柳 悦州教授]
5. トルコとコーカサス、およびその周辺地域の機織り文化研究
[担当：柳 悦州教授]
6. 公開講座「登窯体験講座」（全10回）
平成15年10月2日～10月30日 [担当：島袋常秀教授]

(4) 伝統芸能部門

1. 沖縄・奄美の民俗音楽調査研究 [担当：久万田晋助教授]
 - A 沖縄本島におけるウシデーケ関連芸能の調査研究
 - B 奄美諸島の民俗芸能音楽の調査研究
2. 沖縄古典舞踊の技法研究 [担当：宮城能鳳教授・久万田晋助教授]
3. 沖縄奄美民俗音楽関係資料の収集 [担当：久万田晋助教授]
4. アジア諸地域の伝統音楽芸能調査研究
 - A インドネシア・バリ島の音楽芸能の調査研究 [担当：梅田英春助教授]
 - B 文化講座（無料）「アジア・日本・沖縄の文化政策と音楽芸能」
全6回 [担当：久万田晋助教授]
 - 第1回 1月30日 梅田英春（附属研究所兼任助教授）
「総論 アジアの文化政策と音楽芸能」
 - 第2回 2月6日 久万田晋（附属研究所助教授）
「日本・沖縄の文化政策と音楽芸能」
 - 第3回 2月13日 三島わかな（沖縄県立芸術大学非常勤講師）
「戦後琉球政府時代の文化政策と音楽」
 - 第4回 2月19日 大城 學（国立劇場おきなわ企画制作課長）
「戦後沖縄の文化行政と伝統芸能」
 - 第5回 2月20日 草野妙子（沖縄県立芸術大学客員教授）
「韓国の文化政策と音楽芸能」
 - 第6回 3月4日 梅田英春（附属研究所兼任助教授）
「インドネシアの文化政策と音楽芸能」

II 平成16年度研究業務状況

(1) 二部門以上共通

1. タイ・ラオスの伝統文化研究 [担当：伝統芸能部門、伝統工芸部門]
2. 沖縄伝統文化研究資料の収集・データベース作成 [担当：芸術・文化学]

部門、伝統工芸部門]

(2) 芸術・文化学部門

1. 地域文化の調査研究

- A. 『琉球国由来記』の研究 [担当：波照間永吉教授]
- B. 沖縄の神歌の調査研究 [担当：波照間永吉教授]
- C. 波照間島の伝統文化の調査研究 [担当：波照間永吉教授・川平成雄調査員・平良勝保調査員・西岡 敏調査員・飯田泰彦調査員・久貝典子調査員・照屋 理調査員]

2. 『鎌倉芳太郎資料集 ノート篇(2)』の編集・刊行 [担当：波照間永吉教授]

3. 沖縄図像データベースの作成 [担当：尾形希和子助教授]

4. 沖縄県立芸術大学附属研究所公開講座「琉球方言の楽しみ—琉球方言を話そう—」 [担当：波照間永吉]

平成16年9月30日～12月2日（午後7時～9時）

第1回 9月30日 狩俣繁久（琉球大学教授）

「琉球方言概説(1)」

第2回 10月7日 狩俣繁久（琉球大学教授）

「琉球方言概説(2)」

第3回 10月14日 狩俣繁久（琉球大学教授）

「奄美諸島の方言(1)」

第4回 10月21日 狩俣繁久（琉球大学教授）

「奄美諸島の方言(2)」

第5回 10月28日 伊狩典子（首里方言研究家）

「沖縄諸島の方言(1)」

第6回 11月4日 伊狩典子（首里方言研究家）

「沖縄諸島の方言(2)」

第7回 11月11日 富浜定吉（宮古方言研究家）

「宮古諸島の方言(1)」

第8回 11月18日 富浜定吉（宮古方言研究家）

「宮古諸島の方言(2)」

第9回 11月25日 宮城信勇（石垣方言研究家）

「八重山諸島の方言(1)」

第10回 12月2日 宮城信勇（石垣方言研究家）

「八重山諸島の方言(2)」

5. おもろ研究会（平山良明代表）開催 [担当：波照間永吉]

(3) 伝統工芸部門

1. 沖縄染織の研究 [担当：柳 悦州教授]

2. 鎌倉芳太郎紅型型紙の画像データベース作成と研究

3. 織物技法研究

4. タイ・ラオス織物文化研究 [担当：柳 悦州教授]

5. トルコとコーカサス、およびその周辺地域の機織り文化研究

[担当：柳 悦州教授]

6. 文化講座「腰機を織る」（全7回）

平成15年7月5日～7月29日 [担当：柳 悦州教授]

第1回 7月5日 柳 悦州（附属研究所教授）

「腰機で細帯を織る」

第2回 7月7日 伊波貞子（石川市民俗文化財技能保持者）

「伊波メンサー見学」

第3回 7月12日 柳 悦州（附属研究所教授）

「腰機でゲーシバナを織る」

第4回 7月14日 幸喜 新（知花花織復元作業所）

「天秤腰機を織る」

第5回 7月21日 幸喜 新（知花花織復元作業所）・柳悦州（附属研究所教授）

「天秤腰機で紋織りを織る」

第6回 7月26日 柳 悦州（附属研究所教授）

「固定綜統機を織る」

第2回 7月28日 柳 悦州（附属研究所教授）

「まとめ」

(4) 伝統芸能部門

1. 沖縄・奄美の民俗音楽調査研究 [担当：久万田晋助教授]
 - A 沖縄本島におけるウシデーケ関連芸能の調査研究
 - B 奄美諸島の民俗芸能音楽の調査研究
2. 沖縄奄美民俗音楽関係資料の収集 [担当：久万田晋助教授]
3. アジア諸地域の伝統音楽芸能調査研究
 - A インドネシア・バリ島の音楽芸能の調査研究 [担当：梅田英春助教授]
 - B タイ中部伝統芸能調査 平成16年12月18日～28日
[担当：久万田晋助教授・梅田英春助教授]
4. 文化講座（無料）「沖縄の大衆文化の広がり」全6回 [担当：久万田晋助教授] 平成17年2月8日～3月15日（午後7時～9時）
 - 第1回 2月8日 多田 治（琉球大学助教授）
「沖縄イメージの誕生」
 - 第2回 2月15日 高橋美樹（琉球大学非常勤講師）
「沖縄新民謡から沖縄ポップへの歩み」
 - 第3回 2月22日 久万田晋（附属研究所助教授）
「日本の大衆音楽における沖縄イメージの展開」
 - 第4回 3月1日 新城和博（ボーダーインク）
「現代沖縄ポップ・カルチャーの展開」
 - 第5回 3月8日 大城亘武（沖縄キリスト教学院大学教授）
「沖縄のコミック文化」
 - 第6回 3月15日 大胡太郎（琉球大学助教授）
「沖縄の大衆文学」

Ⅲ 主要研究業績（平成15年1月～平成16年12月）

1) 研究所員主要研究業績

1. 著書・編書
2. 論文
3. 作品発表・公演
4. 研究発表

5. 解説等 6. 講演・放送 7. その他

2) 助成研究

1. 平成15年度～平成16年度において研究代表者、研究分担者となっている科学研究費研究
 - a. 研究代表者となっているもの b. 研究分担者となっているもの
2. 沖縄県立芸術大学芸術振興財団助成研究
3. その他

(1) 研究所長

鳥袋 常秀 (教授、兼任教員)

平成15年

- 1) 3. 「赤絵皿」03やちむん展、読谷村立美術館、平成15年2月。
3. 「赤絵草文皿」第55回沖展、浦添市体育館、平成15年3月。
3. 「赤絵草文皿」第77回国展、東京都美術館、平成15年4月。
7. 「伝統工芸士認定委員」、平成15年12月。

平成16年

- 1) 3. 「赤絵草文皿」04やちむん展、読谷村立美術館、平成16年2月。
3. 「赤絵皿」第56回沖展、浦添市体育館、平成16年3月。
3. 「赤絵皿」第78回国展、東京都美術館、平成16年4月。
3. 「食器等」鳥袋常秀やちむん展、民芸きょうと、平成16年11月。
7. 「伝統工芸士認定委員」、平成16年12月。

(2) 芸術・文化学部門

波照間 永吉 (教授)

平成15年

- 1) 1. 『新編 沖縄の文学』(監修・編集・執筆) 沖縄時事出版、2003年12月12日
2. 「跋」『組踊を聴く』(矢野輝雄著)(日本学術振興会出版助成申請者・波照間永吉) 瑞木書房 2003年2月28日 pp649～659

2. 「古琉球の“移動” —オモロにみる人々の動き—」『第4回沖縄研究国際シンポジウム 世界に拓く沖縄研究』沖縄研究国際シンポジウム実行委員会 平成15年3月30日 pp355～361。
2. 「琉球文学の枠組」『別冊 環—琉球文化圏とは何か—』（藤原書店 2003年6月刊）pp184～185
2. 「鎌倉芳太郎先生と沖縄」『沖縄の至宝と型絵染』香川県文化会館。平成15年11月1日 pp7～14
2. 「沖縄の船・航海・祭祀」『第4回沖縄研究国際シンポジウム ヨーロッパ大会報告書 世界に拓く沖縄研究』沖縄研究国際シンポジウム実行委員会 2003年10月15日
2. 「宮良當壯先生と八重山歌謡研究」『宮良當壯全集 月報』20号 第一書房 平成15年9月28日
2. 「琉球文学の枠組」『別冊環⑥ 琉球文化圏とは何か』藤原書店 平成15年6月30日
2. 「私たちの郷土の文学、琉球文学」『新編沖縄の文学』沖縄時事出版社 平成15年12月12日
6. 講座「『おもろさうし』の歌形」（全2回）沖縄学研究所講座 平成15年1月30日
6. 講座「琉球文学のあらまし」沖縄県立芸術大学附属研究所公開講座「新しく語る琉球文学」（全10回の第10回目）平成15年2月6日
6. 講座「琉球文学の中の組踊」平成15年度沖縄学講座（浦添市）平成15年7月26日
6. 講座「沖縄文化論—沖縄の言葉と信仰—」沖縄エコツアーガイド養成講座 NPO法人沖縄環境クラブ 平成15年8月22日
6. 講演「わたしたちの古見の歴史と文化」みゆすく成人学級講座 古見公民館 平成15年8月30日
6. 講座「『おもろさうし』の概要」平成15年度沖縄県広域学習サービス事業リカレントコース講座「『おもろさうし』を読む」（全10回の第1回目）沖縄県立芸術大学附属研究所 平成15年10月2日
6. 講座「『おもろさうし』にみる古琉球の宗教・固有信仰」平成15年

- 度沖縄県広域学習サービス事業リカレントコース講座「『おもろさうし』を読む」(全10回の第7回目) 沖縄県立芸術大学附属研究所 平成15年11月13日
6. 講座「『おもろさうし』の中の王権」平成15年度沖縄県広域学習サービス事業リカレントコース講座「『おもろさうし』を読む」(全10回の第8回目) 沖縄県立芸術大学附属研究所 平成15年11月18日
6. 講座「『おもろさうし』に謡われる生産」平成15年度沖縄県広域学習サービス事業リカレントコース講座「『おもろさうし』を読む」(全10回の第9回目) 沖縄県立芸術大学附属研究所 平成15年11月27日
6. 講座「オモロ鑑賞」平成15年度沖縄県広域学習サービス事業リカレントコース講座「『おもろさうし』を読む」(全10回の第10回目) 沖縄県立芸術大学附属研究所 平成15年12月4日
- 6 講座「沖縄文化論—ことば・信仰・文学—」平和学習会「沖縄なんくる学校」沖縄平和ネットワーク 平成15年10月14日
6. 講演「鎌倉芳太郎先生と沖縄の文化」香川県文化会館「『琉球の至宝』と型絵染め」記念講演香川県文化会館 平成15年11月21日
6. 講演「私たちの郷土の文学“琉球文学”」『新編・沖縄の文学』刊行記念講演会 沖縄教育資料センター 平成15年12月15日
7. 書評「三木健著『八重山研究の歴史』」『沖縄タイムス』平成15年9月14日
7. 書評「八重山人頭税廃止百周年記念事業期成会記念誌部会編『人頭税廃止百年記念誌 あさばな』」『沖縄タイムス』
7. <議長総括>「『文学』分科会のまとめ」『第4回沖縄研究国際シンポジウム ヨーロッパ大会報告書 世界に拓く沖縄研究』第4回沖縄研究国際シンポジウム実行委員会 平成15年10月15日
- 7、「あとがき」『第4回沖縄研究国際シンポジウム ヨーロッパ大会報告書 世界に拓く沖縄研究』第4回沖縄研究国際シンポジウム実行委員会 平成15年10月15日
7. 書評「与那国町史編纂委員会事務局編『与那国町史第一巻 与那国

- 島—交響する島宇宙 日本最西端 どうなんちまの地名と風土—』
『沖縄タイムス』平成15年6月28日
- 7、放送「沖縄の民俗文化と芸術Ⅱ」平成13年度沖縄県立芸術大学大学
放送公開講座（全6回の第1・2回）沖縄テレビ 平成15年1月11
日／18日
- 7、「『組踊を聴く』索引」（照屋 理・後藤育恵氏と共編）『組踊を聴く』
pp(1)～(74) 瑞木書房 平成15年2月27、
- 7、「小川徹先生を偲ぶ」『沖縄文化』95号 沖縄文化協会 平成15年3
月31日 pp.136～138
- 7、座談会「組踊座談会—矢野輝雄氏遺稿集刊行に寄せ—（上・下）」
『沖縄タイムス』平成15年6月9・10日
- 7、〈編集協力〉『石垣方言辞典』（宮城信勇著）沖縄タイムス社 平成
15年9月30日

平成16年

- 1) 2. 「与那国島の聖地と祭祀(1)」（与那覇仁一氏と共著）『沖縄芸術の科
学』16号 沖縄県立芸術大学附属研究所 平成16年3月31日
2. 「《解説》八重山歌の花綵」『八重山歌の花綵——八重山古典民謡保
存会大底朝要研究所第3回発表会・東京公演 パンフレット』八重
山古典民謡保存会大底朝要研究所 平成16年5月28日
2. 「《解説》地域の懐かしい言葉・石垣島」『人間会議』2004年夏号
平成16年6月5日
2. 「鎌倉芳太郎先生と沖縄資料（上・下）」『沖縄タイムス』平成16年
11月2・3日
6. 講座「『久米仲里旧記』にみるコスモロジー」沖縄学研究所セミナ
ー“新・沖縄の歴史と文化”（全10回目の第9回）平成16年2月27
日
6. 講座「南島の神話・伝説・世間話と歌謡」沖縄学研究所セミナー
“新・沖縄の歴史と文化”（全10回目の第9回）平成16年2月28日
6. 講演「沖縄文化概論—沖縄の言葉と信仰—」平成15年度家庭裁判所

- 調査官（補）自庁研修（第3回）平成16年3月11日
6. 「『おもろさうし』概説」奄美・沖縄民間文芸学会公開講座「奄美・沖縄における民間文芸の可能性」（全9講の第6講）平成16年3月28日
 6. 「『おもろさうし』の記載法」奄美・沖縄民間文芸学会公開講座「奄美・沖縄における民間文芸の可能性」（全9講の第9講）平成16年3月29日
 6. 講演「沖縄の文学—その面白さ—」沖縄語学センター定期講演会 平成16年6月30日
 6. 講座「沖縄文学概論—沖縄の文学—その面白さ—」沖縄エコツアーガイド養成講座 NPO法人沖縄環境クラブ 平成16年9月9日
 6. 講演「『新編 沖縄の文学』の考え方」沖縄県高教組南部支部教育研究集会国語部会（南部農林高校）平成16年10月15日
 6. 講演「鎌倉芳太郎先生と沖縄資料」沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館講演会 平成16年11月6日
 6. 講演「小浜島のあゆみと暮らし—歴史と文化の粗描—」小浜公民館主催小浜島成人大学講座 平成16年12月8日
 6. 解説「八重山歌の花綵」八重山古典民謡保存会大底朝要研究所第3回発表会（石垣市民会館）、平成16年2月8日
 6. 解説「八重山歌の花綵」八重山古典民謡保存会大底朝要研究所第3回発表会（東京国立劇場）平成16年5月28・29日
 7. 「沖縄の民俗芸能のゆたかさ」『国立劇場おきなわ開場記念公演第四週 民俗芸能 シマ（村落）の賑わい パンフレット』国立劇場おきなわ 平成16年2月14日
 7. 書評「山下欣一著『南島民間神話の研究』」『琉球新報』平成16年1月18日
 7. 「加治工真市教授退官記念号の刊行にあたって」『沖縄芸術の科学』16号 沖縄県立芸術大学附属研究所 平成16年3月31日
 7. 書評「伊波寛著『魂抱き』」『沖縄タイムス』平成16年4月17日
 7. 書評「南山社出版部編『八重山歴史読本』」『沖縄タイムス』平成16

年8月14日

7. 書評「伊波寛著『魂抱き』」『情報やいま』平成16年7月号 南山舎
7. 「西表島古見の芸能『長者』」『竹婦連芸能大会パンフレット』 竹婦連 平成16年10月22日
7. 「登野城村の音と風への憧憬—国立劇場『石垣市登野城の芸能』を迎えて」『琉球新報』平成16年11月22日
7. 「崎浜秀明先生のご逝去を悼む」『沖縄タイムス』平成16年12月6日 朝刊
7. 推薦文「“山下奄美学”の展開—『奄美学・その地平と彼方』に期待する」『奄美学・その地平と彼方』刊行パンフレット 南方新社 平成16年12月20日

加治工真市（教授、兼任教員）

平成15年

- 1) 1. 編集. 宮良當杜著『宮良當杜全集1 日本方言語彙(5) 索引(A～J)』第一書房 平成15年9月28日
2. 「竹富方言の基礎語彙—分野8(民俗)、分野9(遊戯)—」『琉球の方言』27号 法政大学沖縄文化研究所 平成15年3月31日
7. 監修. 宮城信勇著『石垣方言辞典』沖縄タイムス社 平成15年9月16日

平成16年

- 1) 2. 「加治工真市教授略歴・研究業績目録」『沖縄芸術の科学』16号 沖縄県立芸術大学附属研究所 平成16年3月31日
2. 「与那国方言について」『沖縄芸術の科学』16号 沖縄県立芸術大学附属研究所 平成16年3月31日

尾形 希和子（助教授、兼任教員）

平成15年

- 1) 7. 「シャヒード、100の命展に寄せて」『琉球新報』平成15年9月6日。

7. 「山形国際ドキュメンタリー映画祭in Okinawa2003／下」 『沖縄タイムス』 平成15年10月30日

平成16年

- 1) 2. 「イコノロジー研究再考－沖縄の民間信仰図像の解釈のために」
『篁牛人記念美術館報』 第13号 pp.15～40 平成16年3月31日
7. 「草間弥生展展評：ケルト美術思わせる反復と増殖」『琉球新報』 平成16年9月3日
7. 「月とタコ／タケプロジェクト@沖縄・フィリピン」『EDGE』 第13号 Art Produce Okinawa 平成16年7月9日

(3) 伝統工芸部門

柳 悦州（教授、専任教員）

平成15年

- 1) 1. 『鎌倉芳太郎資料集 第2巻－紅型型紙(2)－』 編著 沖縄県立芸術大学附属研究所 平成15年3月
2. 「鎌倉芳太郎紅型型紙における『紅型型紙の大きさ』による分析」
共著（平田美奈子） pp. 7-13 『鎌倉芳太郎資料集 第2巻－紅型型紙(2)－』 沖縄県立芸術大学附属研究所 平成15年3月
2. 「Research on Textile Traditions」 単著 平成15年9月 『Laos and Ethnic Cultures: Promoting Heritage』 ユネスコ
3. 帯地「サトウキビの花」第77回《国展》 東京都立美術館 平成15年4月
7. ラオス北部・南部織物調査 平成15年2月20日～3月17日
7. 「尚家資料総合調査－成果と課題－」『琉球新報社』 平成15年6月
7. トルコ・シリア・ブルガリア織機調査 シルクロード学研究センター助成研究 平成15年8月27日～10月2日
7. 「ラオス織物を極める」『地球の歩き方 ラオス』 pp.52-53 ダイヤモンド社 平成15年6月
- 2) 3. その他

「トルコとコーカサス、およびその周辺地域の機織り文化研究」平成15～16年度シルクロード学研究所助成研究 研究代表者：
吉本 忍

平成16年

- 1) 3. 「経綉浮織帯」第78回《国展》 東京都立美術館 平成16年4月
4. 「腰機から高機へ」沖縄染織研究会 平成16年9月
7. アゼルバイジャン・グルジア・アルメニア・ロシア・シリア織機調査 シルクロード学研究所助成研究 平成16年8月3日～9月10日
7. タイ北部調査 平成16年3月20日～31日

長尾 紀壽（教授、兼任教員）

平成15年

- 1) 3. 利休屏風「型絵染・南風の海」京都工芸美術作家協会展 京都府文化芸術会館 平成15年2月
3. 屏風二曲一双半「南風の海」第13回染・清流展 京都市美術館 平成15年4月
3. 藍型着物「南風の海」／稲垣賞 第58回新匠工芸展 京都市美術館・東京都立美術館 平成15年11月
3. 屏風「海辺のアダン」広島市立大学主催「前進する工芸—美術工芸教育における大学間研究ネットワークの構築」 広島市市民交流プラザ・ギャラリー 平成15年11月

平成16年

- 1) 3. 京都工芸美術作家協会展 京都府文化芸術会館 平成16年2月
3. 新匠工芸会春季展 京都府文化芸術会館 平成16年3月
3. 屏風二曲一双半「我家のソテツとブーゲンビリア」(清流会買上) 第14回染・清流展 京都市美術館 平成16年4月
3. 屏風「陽・ブーゲンビリア」第56回京展 平成16年5月

3. 平面「湯けむる裸祭」第2回利根山光人ビエンナーレ 平成16年 8月
6. 講演「沖縄の染—紅型」2004年度繊維学会 熊本大学工学部100周年記念会館 平成16年 9月
3. 藍型着物「ブーゲンビリア」京都市美術館・東京都美術館 平成16年11月
3. 「陽—ブーゲンビリア」 「前進する工芸」和歌山田辺市立美術館 平成16年12月

(4) 伝統芸能部門

梅田 英春 (助教授、兼任教員)

平成15年

- 1) 2. 「バリ舞踊の聖俗論議セミナー(1971)の答申をめぐる一考察」『MOUSA沖縄県立芸術大学音楽学研究誌』4: 79-92 平成15年 3月
2. 「現代バリにおける人形遣いダランの宗教的役割剥奪の歴史とその復権の兆し」『沖縄芸術の科学』13: 73-102, 沖縄県立芸術大学附属研究所紀要 平成15年 3月。
2. 「ローカル、グローバル、もしくは「ちゃんぷるー」——沖縄観光における文化の多様性とその真正性をめぐる議論」橋本和也・佐藤幸男編『観光開発と文化——南からの問いかけ』pp. 83-111 平成15年 2月
3. 《沖縄市中央公民館ロビーコンサート 竹と青銅の響き》(沖縄市中央公民館、平成15年11月)における企画・レクチャー・演奏
6. 「インドネシアの音楽芸能にみる伝統と現代化」平成14年度沖縄県立芸術大学附属研究所文化講座 沖縄県立芸術大学附属研究所 平成15年3月24日
7. 「インドネシアの文化政策の現状に関する調査・研究」文部科学省平成15年度科学研究費補助金によるインドネシア バリ州における調査 平成15年12月17日～平成16年 1月7日
7. 「平成15年度教育内容改善等に関する若手教員等の海外派遣在外研

究」＜民族音楽学における東南アジア音楽の新たな歴史研究の可能性——オランダにおけるインドネシア関連植民地資料にもとづく近代インドネシア音楽史の構築＞オランダ：ライデン大学 平成15年5月7日～11月6日

- 2) 2. 「民族音楽学における東南アジア音楽の新たな歴史研究の可能性——オランダにおけるインドネシア関連植民地資料にもとづく近代インドネシア音楽史の構築」(平成15年度)
3. 国立民族学博物館共同研究「日本コロンビアの「外地」録音に関するディスコグラフィ的研究」(研究代表者：細川周平)(平成15年度・平成16年度)

平成16年

- 1) 3. 《バリ島ワヤン公演——クンバカルナの戦死》(東京青龍寺 平成16年4月29日)におけるワヤン上演。
3. 《バリ島ワヤン公演——クンバカルナの戦死》(羽根木プレーパーク、平成16年5月1日)におけるワヤン上演
3. 《大城スージーグワー週末美術館 ガムランコンサート》(北中城村大城アガリヌカー公演、平成16年11月13日)における企画・レクチャー・演奏
3. 《インドネシア・バリ島のガムランと舞踊コンサート》金武町立金武小学校 平成16年12月17日
4. The History of Deprived "Religious" Role in Balinese Dalang and Signs of Restoration in the 'Transition Period' of Indonesia.
International Workshop in Jakarta: The Micrology of Indonesian Local Societies. (Indonesian Institute of Sciences, Jakarta. 平成16年3月23日)
4. 「観光コンテクストにおけるアートマネジメント——バリ島の事例から」沖縄アートマネジメント研究会、沖縄県立芸術大学 平成16年6月12日
4. 「植民地関連資料にもとづくインドネシア音楽・芸能の歴史研究の

可能性——平成15年度オランダ、ライデン大学における在外研究報告」東洋音楽学会第40回沖縄支部定例研究会 沖縄県立芸術大学
平成16年7月24日

4. 「バリ島の芸能と文化政策——文化審議育成委員会の諸活動とその成果」日本音楽学会第55回全国大会 名古屋芸術大学 平成16年11月7日
6. 「沖縄観光における芸能の位置付け——バリ島の観光政策における文化戦略との比較を通して」第6回歴史・文化講座（県・市町村合同）沖縄県自治研修所 平成16年1月22日
6. 「総論 アジアの文化政策と音楽芸能」平成15年度沖縄県立芸術大学附属研究所文化講座 沖縄県立芸術大学附属研究所 平成16年1月30日
6. 「インドネシアの文化政策と音楽芸能」平成15年度沖縄県立芸術大学附属研究所文化講座 沖縄県立芸術大学附属研究所 平成16年3月4日
7. タイ中部影絵芝居調査（同行：久万田晋、平成16年12月17日～12月27日
- 2) 3. 国立民族学博物館共同研究「インドネシアにおける『近代』の咀嚼」平成16年度、研究代表者：鏡味治也。
3. 国立民族学博物館共同研究「日本コロンビアの「外地」録音に関するディスコグラフィ的研究」平成15～16年度、研究代表者：細川周平。

比嘉 康春（助教授、兼任教員）

平成15年

- 1) 3. 平成15年1月1日 NHKラジオ深夜便「新春を寿ぐ」琉球古典音楽の解説 実演
3. 平成15年4月20日 野村流古典音楽保存会中部支部45周年記念公演「下出述懐節」独唱
3. 平成15年5月13日 沖縄県文化振興会かりゆし芸能公演（真踊流）

地謡担当県立郷土劇場

3. 平成15年6月1日 沖縄県文化振興会かりゆし芸能公演（紫の会）
地謡担当県立郷土劇場
4. 平成15年6月7日 沖縄アートマネジメント研究会第1回研究会
「古典芸能の可能性」について報告芸大奏楽堂講義室
3. 平成15年7月9日 島袋光裕生誕百十年記念顕彰公演出演 太鼓合奏曲「暁雲とつれて」の歌三線担当
3. 平成15年9月28日 静岡県修善寺町あさば公演「琉球舞踊の世界」
地謡担当
3. 平成15年10月26日 宮城流宮城能松芸歴50周年記念公演 舞踊地謡
担当 カルフォニア州エルカミノ大学ホール
3. 平成15年12月7日 第56回NHK沖縄の歌と踊りのつどい「夕千鳥」
「取納奉行」地謡出演 県立郷土劇場
5. 平成15年12月20日 第8回国連大学グローバルセミナー 琉球芸能
鑑賞会の解説 佐敷町厚生年金会館
6. 平成15年12月27日 沖縄タイムス朝刊 勝連繁雄著／「組踊の世界」
の書評執筆

平成16年

- 1) 3. 平成16年1月23日 国立劇場おきなわ開場記念公演第1週
創作舞踊「入子躍」音楽指導及び「扇子躍」「若衆笠躍」の地謡
3. 平成16年2月1日 国立劇場おきなわ開場記念公演第2週 創作舞
踊「水かがみ」「ぱーらんく」の地謡
3. 平成16年3月21日 国立劇場おきなわ開場記念公演第8週 組踊
「万歳敵討」の地謡
3. 平成16年3月27日 横浜能楽堂企画公演「日本の音」第5回王朝の
雅「子持節」独唱 人間国宝島袋光史太鼓演奏「こてい節」「加那
ヨー・天川」の地謡
3. 平成16年4月2日 人間国宝島袋光史八十五歳祝賀公演「浜遊び」
「加那ヨー・天川」の地謡

3. 平成16年5月22日 国立劇場おきなわ企画 第一回三線音楽公演
「仲風節」独唱
3. 平成16年6月5日 国立劇場おきなわ企画 第一回素踊りの会
「かぎやで風」「前の浜」「鳩間節」の地謡
5. 平成16年6月21日 沖縄県市町村文化行政担当者連絡会議で特別講演、県庁講堂
3. 平成16年7月10日 国立劇場おきなわ企画 第四回琉球舞踊公演
「松竹梅鶴亀」他9演目の地謡
3. 平成16年7月20日 沖縄県文化振興会かりゆし芸能公演（藤の会）
地謡担当
3. 平成16年8月23日 国立劇場おきなわ主催 韓国パンソリ演奏会で
歌三線の特別演奏
3. 平成16年10月2日 沖縄タイムス社ルネッサンス50周年記念公演
「みやらべ」「わたんじゃー」「パーランク」の地謡
3. 平成16年10月23日 国立劇場おきなわ企画 第四回組踊公演
舞踊3題、組踊「手水の縁」地謡
3. 平成16年10月31日 第58回NHK沖縄の歌と踊りのつどい出演
「むんじゅる」「貫花」の地謡
3. 平成16年12月5日 沖縄県立芸術大学奏楽堂演奏会 「御冠船踊の
面影」 舞踊地謡（諸屯）

久万田 晋（助教授、専任教員）

平成15年

- 1) 2. 「音楽概観2002」『沖縄文芸年鑑 2002年版』沖縄タイムス社
pp.25-27 平成15年1月
2. 「エイサーにおける継承・伝播・創造の現代的展開」
『エイサー・阿波おどり・よそこい祭りにおける民謡・民俗芸能の
継承・伝播・創造の現代的展開 平成12年度～平成14年度科学研究
費補助金〔基盤研究（C）（1）〕研究成果報告書』岩井正浩（研究代
表者・神戸大学） pp.3-12 平成15年3月

2. 「沖縄ポップとくしまうた>-融解する境界」
『Inter Communication』no.46 NTT出版 pp.102-107 2003年
4. 研究発表「琉球芸能にまつわる諸概念の形成過程-昭和前期の二つの芸能大会を中心に-」沖縄民俗学会例会 那覇市：沖縄県立芸術大学 平成15年1月25日
4. 研究発表「チョンダラーを巡る日中琉」第3回「日本・中国・沖縄における民間文化交流の研究」研究会 神戸市：甲南大学 平成15年10月11日
4. 「沖縄の音楽芸能をめぐる国際性と民族性」日本音楽教育学会神戸大会シンポジウム「国際社会の音楽教育」にパネリストとして参加・発表 神戸市：神戸大学 平成15年10月18日
4. 「沖縄のエイサーにおける<伝統再生>」東洋音楽学会第54回大会ラウンドテーブル「よさこいとエイサー：<伝統再生>を問う」にパネリストとして参加・発表 広島市：エリザベト音楽大学 平成15年10月26日
4. Okinawan music and performing arts -from tradition to modern progression-国際シンポジウムDance, Music, and the Study of Culture: the Austronesian Perspective (12-14, Dec.2003)に参加 発表 国立東華大学(台湾：花蓮市) 平成15年12月13日
6. パネルディスカッション司会「沖縄アートマネジメントの現状と可能性」沖縄アートマネジメント研究会第1回定例研究会 沖縄県立芸術大学奏楽堂講義室 平成15年6月7日
6. 講演「エイサーの現代的側面」平成15年度沖縄市立中央公民館講座 沖縄市立中央公民館 平成15年8月6日
6. 講演「琉球芸能の分類について考える- [古典芸能] と [民俗芸能] の始まり-」浦添市立図書館平成15年度沖縄学講座 浦添市立図書館 平成15年8月23日
6. テレビ解説「第39回青年ふるさとエイサー祭り」琉球放送 平成15年8月30日
6. 講演「琉球・沖縄の音楽芸能を楽しむ-神祭りから沖縄ポップま

でー」沖縄なんくる学校 浦添市西原：コープおきなわ研修棟 平成15年9月9日

7. 「沖縄・奄美の音楽」

『新高校の音楽1 指導の手びき』音楽之友社 p.89 2003年

7. 「＜沖縄ポップとは何だったのか＞失われた九〇年代を巡って」(新城和博との対談)『ワンダー (Wander)』vol.34、ボーダーインク pp.10-35 平成15年5月

7. 「海洋民的リズム感」『沖縄を深く知る事典』日外アソシエーツ pp.398-401 平成15年2月

7. 「沖縄の伝統芸能をめぐる諸概念の展開」『沖縄を深く知る事典』日外アソシエーツ pp.420-423 平成15年2月

7. 事典項目執筆「エイサー」「古典音楽」池澤夏樹編『オキナワなんでも事典』(新潮文庫)新潮社 平成15年

7. シンポジウム記録「シンポジウム 国際化時代の音楽教育」『音楽教育学』(日本音楽教育学会機関誌) Vol.33, No. 2 pp.22-38 平成15年

2) 1. b 「奄美沖縄諸島における儀礼歌謡の収集・研究とデータベース化」平成12～15年度基盤研究B 研究代表者：玉城政美(琉球大学教授)

1. b 「グローバル化状況下における芸術の論理と倫理」平成14～17年度基盤研究A 研究代表者：藤田一美(東京大学教授)

3. 「日本コロンビアの『外地』録音に関するディスコグラフィ的研究」平成14～15年度国立民族学博物館共同研究 研究代表者：細川周平(東京工業大学助教授)

3. 「日本・中国・沖縄における民間文化交流の研究」平成15～16年度甲南大学総合研究所共同研究 研究代表者：高阪薫(甲南大学教授)

平成16年

1) 2. 「音楽概観2003」『沖縄文芸年鑑 2003年版』沖縄タイムス社 pp.23-25 平成16年年1月

2. 「名瀬市大熊のノロ祭祀に関する一考察」『奄美沖繩諸島における儀礼歌謡の収集・研究とデータベース化 平成12～15年度科学研究費補助金《基盤研究（B）(2)》研究成果報告書』玉城政美（研究代表者、琉球大学） pp.106-117 平成16年3月
2. 「沖繩ポップのあしあと」『アジア遊学66 特集 島唄の魅力』勉誠出版 pp.30-40 平成16年8月
4. 研究発表「エイサーの伝承と展開」中部高等学術研究所共同研究会「アジアにおける文化クラスター（Ⅱ） 現代都市文化の変容－エイサーシンδροームと祝祭性－」 愛知県春日井市：中部大学リサーチセンター 平成16年1月24日
4. 研究発表「沖繩ポップをめぐるトークセッション」（新城和博とのセッション）カルチュラル・タイフーン2004 in 沖繩 沖繩県西原市：琉球大学 平成16年7月11日
4. 「沖繩ポップスの現在」舞踊学会第56回大会シンポジウム〈舞踊のフロンティア〉にパネリストとして参加・発表 那覇市：沖繩県立芸術大学 平成16年12月4日
6. 講演「琉球・沖繩の音楽芸能を楽しむ－神祭り～民俗芸能～沖繩ポップー」沖繩県自治研修所歴史文化講座 那覇市：沖繩県自治研修所 平成16年1月22日
6. 講演「日本・沖繩の文化政策と音楽芸能」平成15年度附属研究所文化講座「アジア・日本・沖繩の文化政策と音楽芸能」第2回 那覇市：沖繩県立芸術大学附属研究所 平成16年2月6日
6. 講演「海を渡った芸能集団－琉球における遊行芸チョンダラーの展開－」2004年度春期甲南大学公開講座「境界を越える人・物・情報－日本・琉球・中国の民間文化交流－」第3回 神戸市：甲南大学 平成16年5月29日
6. 講演「奄美の夏正月の芸能」（かりまたしげひさ氏と合同講演）平成16年度附属研究所公開講座「琉球方言の楽しみ－琉球方言を話そう－」第4回 那覇市：沖繩県立芸術大学附属研究所 平成16年10月14日

6. 講演・番組制作「琉球列島の民俗芸能」(100分) 琉球大学公開講座『琉球芸能の世界2』エル・ネット「オープンカレッジ」(高等教育情報化推進協議会) 平成16年11月6日 12日(再放送)
 7. 鼎談「奄美沖繩の予兆を嗅ぐ」(上)(高良勉、弓削政巳との鼎談記録)『南海日日新聞』平成16年1月1日33面
 7. 鼎談「奄美沖繩の予兆を嗅ぐ(中)」(高良勉、弓削政巳との鼎談記録)『南海日日新聞』平成16年1月6日4-5面
 7. 鼎談「奄美沖繩の予兆を嗅ぐ(下)」(高良勉、弓削政巳との鼎談記録)『南海日日新聞』平成16年1月16日5面
 7. 研究発表記録「エイサーの伝承と展開」『中部高等学術研究所共同研究会「アジアにおける文化クラスター(Ⅱ)ー現代都市文化の変容ー』中部高等学術研究所 pp.39-45 平成16年3月
 7. 沖繩全島エイサーまつり」『日本の祭り2』通巻2号 朝日新聞社(週間朝日百科2004.6.13) p.17 平成16年
 7. 講座テキスト「第2回 琉球列島の民俗芸能」『教育情報衛星通信ネットワークを利用した大学公開講座 琉球大学公開講座:琉球芸能の世界(全2回)』高等教育情報化推進協議会 pp.1-15 平成16年11月
- 2) 1. b 「グローバル化状況下における芸術の論理と倫理」平成14~17年度基盤研究A 研究代表者:藤田一美(東京大学教授)
 1. b 「沖繩県宮古諸島における儀礼歌謡の収集・研究とデータベース化」平成16~18年度基盤研究B(2) 研究代表者:玉城政美(琉球大学教授)
 3. 「日本・中国・沖繩における民間文化交流の研究」平成15~16年度甲南大学総合研究所共同研究 研究代表者:高坂薫(甲南大学教授)

『沖縄芸術の科学』17号編集後記

- 本号には柳悦州教授、梅田英春助教授の論文と共同研究員の後藤育慧氏の編集になる矢野輝雄先生の遺稿集を掲載することが出来た。
- 柳教授の論考は長年にわたるラオスはじめ東南アジアおよびシルクロード地域の織物文化研究の成果にたつて、沖縄の腰機織物とその技法について調査・研究した成果をまとめたものである。沖縄の織物文化と他地域のそれとの比較研究の重要性を知らしめる。このような基礎的であり、かつ実際の調査研究が今こそ求められていると思う。
- 梅田助教授の報告もまた実地調査に基づくものである。われわれにはなじみの薄い「影絵芝居」という芸能の世界の報告であるが、これまたタイを中心とした地域では伝統的な芸能文化である。
- 柳・梅田両氏の研究は、研究所が現地の調査機関と共同で行っている「タイ・ラオスの伝統文化の調査研究」の成果の一端である。本事業の成果はだんだんと蓄積されてきている。今後とも精力的に取り組み、より包括的であり、同時に精細な調査研究が進められるよう努めたい。その成果はひとり沖縄の為のみでなく、ラオス・タイなど諸地域へも還元され同地域の文化研究を裨益する筈である。沖縄県立芸術大学の行う国際交流の大きな柱たるものである。より一層のご支援をお願いしたい。
- 後藤育慧氏編集の「矢野輝雄芸能研究遺稿集」は、本学音楽学部教授であった故矢野輝雄先生の未発表論文と大学における講義ノートからなるものである。矢野先生の沖縄芸能研究のお仕事は『沖縄芸能史話』(1974。新訂増補版=1993年)、『沖縄舞踊の歴史』(1988)、『組踊への招待』(2001)、『組踊を聴く』(2003)と公刊されている。本稿はこれら以降の未発表原稿とこれらのお仕事の基盤を成す「講義ノート」の集成である。これで矢野先生の沖縄芸能研究についての全貌が把握できることであろう。沖縄芸能研究を忘す人々の貴重な資料になることと思う。
- 本号の編集は波照間永吉が担当した。「矢野輝雄芸能研究遺稿集」の編集および最終的な校正の段階で研究所事務室の島袋真澄さん、諏訪詩織さん、大学院助手の清村まり子さん、大学院博士課程の照屋理さんにひとかたならぬお世話をいただいた。記して感謝申し上げたい。なお、同稿—特に「講義ノート」についての形式的統一や注の作成、誤字・脱字等の訂正など編者の後藤育慧氏ともどもあつたが、遺漏や誤謬があることであろう。また、矢野先生の意図を十全に再現できていない部分もあることであろう。これらについての責任は小生にある。この点、お断り申し上げておきたい。(波照間永吉)